

平成25年11月7日

No. 13-230

株式会社 いよぎん地域経済研究センター

松山市民の成田－松山線認知度・利用意向調査 －8割近い人に成田－松山線の利用意向あり－

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称 IRC、社長 山崎 正人）では、このたび下記のとおり、松山市民の成田－松山線認知度・利用意向調査の結果を取りまとめましたので、お知らせします。なお、詳細は、2013年12月1日発行の「IRC Monthly」2013年12月号に掲載します。

記

【調査結果要旨】

1. 松山市民を対象にしたアンケートでは、9割の人が松山にLCCが就航したことを「知っている」と答えた。年代別でも、すべての年代において8割以上の認知度があり、市民の認知度は高い。
2. 松山空港へのLCC就航を知っている人のうち、成田－松山線を「利用したことがある」と答えたのは5.2%にとどまったが、8割近くの人が「ぜひ利用したい」もしくは「利用を検討したい」と答えた。特に、男女別にみると女性の方が、年代別にみると30歳未満の人が利用に前向きであることがわかった。
3. 飛行機の利用頻度別に今後の利用意向をみると、「めったに使わない・使ったことがない」と答えた人の利用意向は相対的に高く、これまであまり飛行機を使うことがなかった人の利用が期待される。

以上

はじめに

「LCC（格安航空会社）元年」と言われた昨年、国内航空路線にLCCが就航した。そして今年6月、松山空港に中四国で初めて国内線LCC（ジェットスター・ジャパン）が就航し、松山ー成田間を結ぶ空の便が誕生した。そこで、成田ー松山線の認知度と今後の利用意向を明らかにするため、松山市民を対象にアンケートを実施した。

LCC認知度・利用意向調査

〈アンケート概要〉

対象者：松山市在住者

調査方法：大街道商店街・松山市駅周辺での対面聞き取り調査

時期：8月28日～9月3日（平日のみ）

回答者数：173人

〈回答者属性〉

性別：男性 46.2% 女性 53.8%

年代：30歳未満 22.5% 30歳代 20.8%
40歳代 16.2% 50歳代 19.1%
60歳以上 21.4%

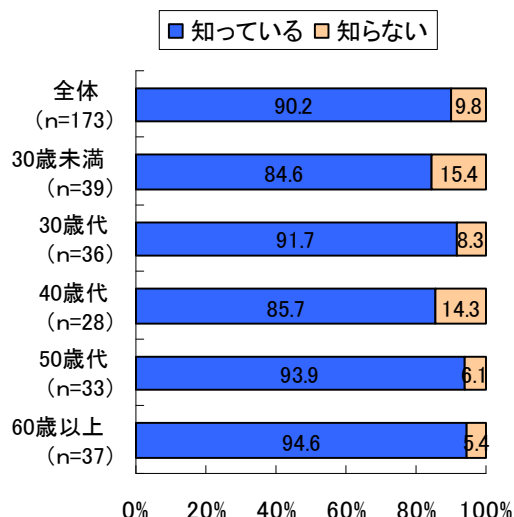
注：小数第2位を四捨五入しているため、図表の内訳の合計が100%にならない場合がある。

（１）LCC就航の認知度

松山空港にLCCが就航したことを知っているかを尋ねたところ、90.2%の人が「知っている」と答えた（図表－１）。

年代別にみても、どの年代においても認知度は8割を超えている。松山空港へのLCC就航のニュースは、地元のテレビや新聞で大きく取り上げられたこともあり、「ニュースや新聞で知った」と言う人が多かった。

図表－１ LCC就航の認知度



（２）LCCの成田ー松山線の詳しい内容に関する認知度

松山空港へのLCC就航を知っている人に対して、さらに詳しい内容をどの程度知っているのかを尋ねた（図表－２）。

A. 運航区間

LCCの運航区間を「知っている」と答えた人は約半数であった。「羽田に運航している」と思っていた人も多く、「関東方面の空港へ運航している」という大まかな情報だけ知っている人も多かった。

B. 航空運賃が安いこと

既存の航空会社に比べて航空運賃が安いことについては、回答者全員が「知っている」と答えた。LCCの最大の強みと言える「安さ」は、しっかり認識されていた。その一方で、料金体系や最安値の水準を知らない人も多く、回答者に実際の運賃を示したところ、「予想以上に安い」と驚く人が多かった。

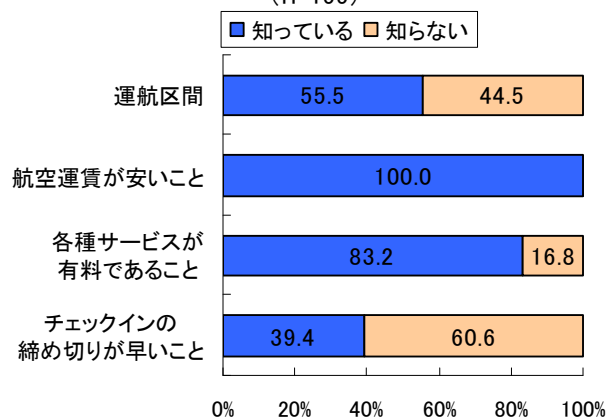
C. 各種サービスが有料であること

手荷物の預かりや機内のドリンク・軽食など、いくつかのサービスについて航空運賃とは別料金がかかることについては、8割以上の人が「知っている」と答えた。

D. チェックインの締め切りが早いこと

既存の航空会社と比べ、チェックインの締め切り時刻が早めに設定されていることについては、60.6%の人が「知らない」と回答した。LCCは、短い時間で折り返すためにチェックインの締め切り時刻を早めに設定しているが、こうしたLCCの運航スタイルは、それほど認知されていないようだ。

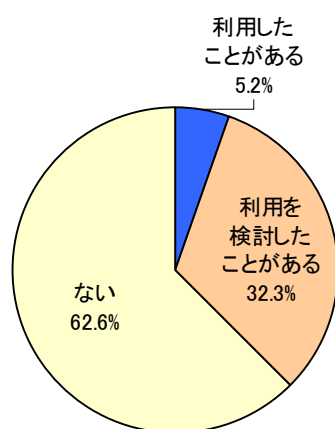
図表－2 LCCの内容に関する認知度
(n=155)



(3) 成田－松山線の利用経験・利用検討の有無

続いて、これまでに成田－松山線を利用したこと、もしくは利用を検討したことがあるかを尋ねたところ、「利用したことがある」と答えた人は5.2%、「利用を検討したことがある」と答えた人は32.3%だった（図表－3）。

図表－3 成田－松山線の利用経験・利用検討の有無 (n=155)



(4) 成田－松山線の今後の利用意向

今後、成田－松山線を利用したいかどうかを尋ねたところ、全体の31.4%の人が「ぜひ利用したい」と答えた。「利用を検討したい」と答えた人の割合は44.8%で、あわせて8割近くの人に今後の利用意向がある（図表－4）。

男女別にみると、男性よりも女性の方が利用に前向きであり、年代別では、30歳未満の約半数が「ぜひ利用したい」と答えた。

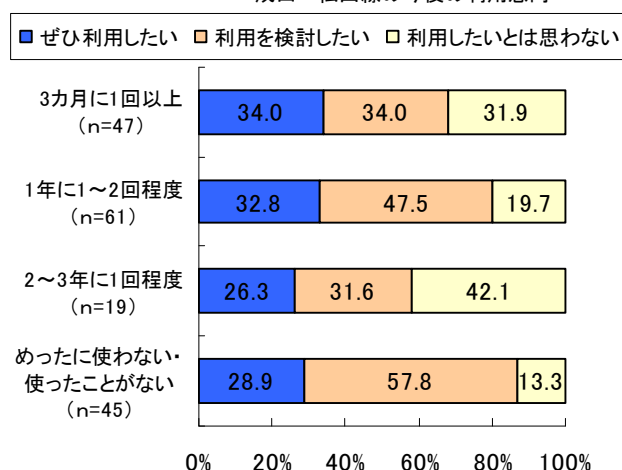
一方、60歳以上になると、「利用したいと思わない」と答えた人が半数を超えた。しかし、60歳以上でも4割の人に利用意向があり、一定のニーズがあると言える。

図表－4 成田－松山線の今後の利用意向

	ぜひ利用したい (%)	利用を検討したい (%)	利用したいとは思わない (%)
全体 (n=172)	31.4	44.8	23.8
男 (n=80)	30.0	38.8	31.2
女 (n=92)	32.6	50.0	17.4
20歳代以下 (n=39)	51.3	48.7	0.0
30歳代 (n=36)	27.8	61.1	11.1
40歳代 (n=28)	21.4	50.0	28.6
50歳代 (n=33)	30.3	42.4	27.3
60歳以上 (n=36)	22.2	22.2	55.6

飛行機の利用頻度別の今後の利用意向をみると、飛行機を使うのが「2～3年に1回程度」と答えた人では利用意向のない人が4割を超えているものの、「めったに使わない・使ったことがない」と答えた人の利用意向は相対的に高いことがわかる（図表－5）。これまであまり飛行機を使うことがなかった人でも、「使ってみたい」と考えている人は多いようだ。

図表－5 飛行機利用頻度別の
成田－松山線の今後の利用意向

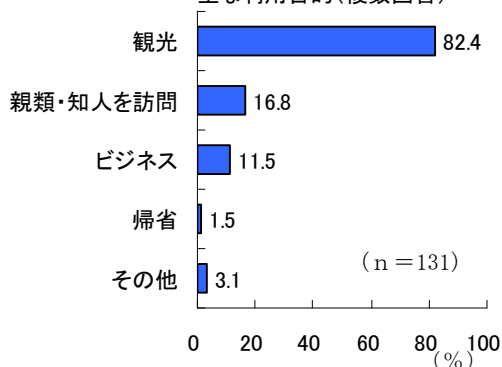


（5）成田－松山線の利用目的

今後の利用意向がある人にその利用目的を尋ねたところ、「観光」が 82.4%と圧倒的に多かったが、「親類・知人を訪問」と答えた人も 16.8%いた。（図表－6）。成田－松山線は、観光だけでなく、家族や友人を訪ねる目的でも利用が期待される。

また、「ビジネスで利用したい」と答えた人も 11.5%おり、「事前に決まっている出張ならパックで予約するが、直前に決まった場合はLCCを利用したい」との意見が聞かれた。

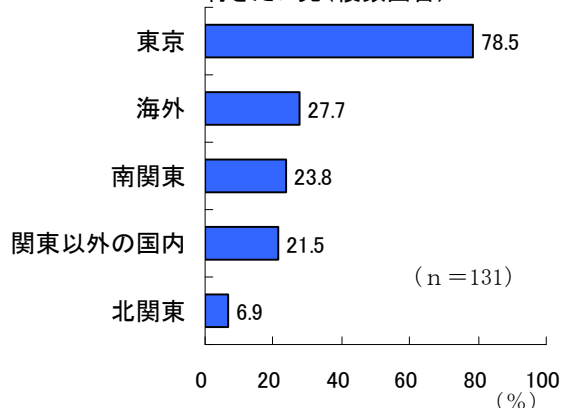
図表－6 今後利用する場合の
主な利用目的(複数回答)



（6）成田－松山線を利用して行きたい先

さらに、成田－松山線を利用してどこに行きたいかを尋ねたところ、「東京」が 78.6%と最も多く、次いで「海外」が 27.7%だった（図表－7）。具体的な行き先としては「東京ディズニーランド」や「北海道」を挙げる人が多かった。格安のLCCが就航したことで、国内外の旅行先の選択肢が広がったと言えそうだ。

図表－7 成田－松山線を利用して
行きたい先(複数回答)



おわりに

アンケートによって、松山市民のLCC成田－松山線の認知度は高く、また8割近くの人に利用意向があることがわかった。内訳をみると、一般にLCCのメインターゲットと言われる若い世代や女性に利用意向のある人が多かった。

そしてめったに飛行機を使わない人でも、利用意向のある人は比較的多かった一方で、運航区間や航空運賃の水準がどれくらいかなど、詳しい内容までは知らない人も少なくなかった。どれくらいの予算でどこに行けるのか、という具体的なプランを提示することで、これまで飛行機にあまりなじみのなかった人たちの利用が拡大することが期待される。

(門田 真理子)